



2021年度(令和3年度)  
峯 第2号 第37号(復活通巻)  
2022年3月31日発行

I.山行 公益事業等 報告	-	1~3
II.行事等、報告、案内・連絡	-	4、5
III.今後の予定	-	6

## I. 計画山行・個人山行 報告

### 1. 寄稿 1971年 ティリッチミール登頂50周年 『戻ってきた50年前の国旗』

1971年7月10日、石川支部登山隊は、ヒマラヤ山脈の末端 Hindu Kush 山脈最高峰ティリッチミール 7708mの登頂に新ルートから成功した。

ベースキャンプ設営から丁度1ヶ月であった。

支部設立以来の行事としてエポックを画する登頂成功であったと評価されよう。

標高4300mのベースキャンプから頂上まで、ルート開拓も含めて標高差約3400mの氷壁を、下を見れば常にベースキャンプが見えるスリリングな登攀であった。

2021年で50周年を迎えたが、記念行事もコロナ禍の中では多人数の集合もままならず、当時の報告書をデジタル版化し、古い当時のスナップをパワーポイントで映像化しUSBメモリで支部会員や元登山隊員に配布するにとどめた。

ところがこの記録配布が思いがけぬきっかけとなり、50年前にディルゴル氷河のベースキャンプで撤収まではためていた日本、パキスタンの両国国旗が、宮波元隊員から石川支部に届いたのであった。

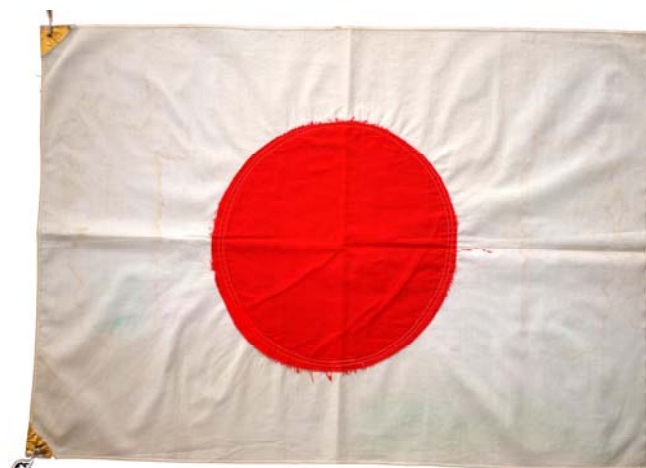
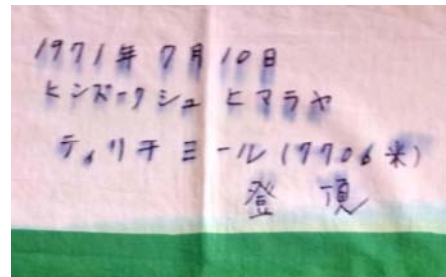
5月17日金沢出発からベースキャンプ撤収まで、体力も性格もバラバラな14人が、様々な危険や困難を乗り越えて、登頂成功のためによく頑張りぬいたと痛感する。

ベースでの滞在期間もパキスタン政府から設定され、ハイポーターも酸素もなく、隊員の体力も極限まで消耗、事故が起きても不思議ではない状況をもお互いの信頼感で切り抜ける。

ベース撤収時のドタバタで国旗回収まで気付かなかったのに、忘れずに回収し50年間よく保存してきてくれたと感謝している。

登頂の直前、頂上へ続く稜線だけが残照に赤く輝く中を、ゆっくりと頂上へ向かう2人の姿、息遣いが聞こえるように全員が一体となっていたあの時の感触は今も忘れない。

『パキスタン国旗』  
と  
登頂のサイン



『日本国旗

日の丸の赤い部分は縫い付けられています』



『寄稿：津田文夫』

## 2. 寄稿 高頭祭(越後支部主催)

日時 : 2021年7月25日(金)

メンバー : 池本 1名

私事になりますが。

娘が新潟県に移住し、西蒲原郡弥彦村に居を構えました。根を下ろすためか、夢をかなえたのか！？

5月にCaféを開店。

用事で弥彦村役場に立ち寄った際に目にしたのが「高頭祭」の案内でした。

これもご縁と思いち、越後支部会友に入会申請し、快く受け入れていただきました。

妻は宮城県現大崎市が郷里です、金沢から往復1300km。

娘は新潟県弥彦村に、往復600km。

若い時は車を運転するのが楽しく心躍るものがありました。今では、この距離が遠く感じられます。

山も、兄弟の顔も、娘の顔も、何か理由が無ければ気楽に腰が上がりえない歳が、山に引っ掛け「越後支部」会友入会を思い立たせたのか、あまり話す事のなかった「越後支部」の皆様と声を掛ける機会とならないかとの過ぎた思い付きか。

今は、名前を置くだけでも心楽しく感じています。

7月25日は毎年恒例開催で、本年は第64回目の「高頭祭」(上高地ウェストン祭は75回、高頭祭が64回目と日本登山祭2番目の伝統と実績を持つ)及び「高頭仁兵衛翁寿像碑修復竣工」との案内を受け、参加の旨通知を出し末席に立たせていただきました。

快晴の下50人の関係者・会員が列席、各種セレモニーが続き、最後に弥彦神社山頂奥の院に向けて安全登山祈願拜礼を行い終了しました。

詳細並びに日本山岳会第2代会長高頭翁につきましては、会報「山」(NO.916・2021/9/20)に越後支部長 桐生恒治氏のレポートとして掲載されていますのでお読みいただければ幸いです。

越後の山々には楽しく登った思い出が沢山あります。

山名を上げていくとなんだと笑われそうですが、糸魚川沿線山塊の駒ヶ岳、雨飾山、明星山から梅海新道の富山県境の山々や、妙高山、焼山 etc.越後三山は30代に新潟の友人の案内で入りましたが、2年前に支部のOさんに八海山へと誘われて行ってきました。

当時の記憶が定かに思い出せず戸惑いましたが、若かりし頃は鎖場も梯子も苦も無く登下山したことは間違いないようです。

巻機山も良い山でした。

今一番行きたい山は、朝日飯豊連峰を歩くことです。

これも娘のご縁で行けるかも・・・？

[寄稿：池本]

### 3. 妙法山

日時 : 2021年10月24日(日)

メンバー : 樽矢 八十嶋 2名



姿が美しい妙法山、  
でも遠かった

久しぶりの月例山行報告。

Y君と2人ですが、早朝に白山ホワイトロード中宮ゲート前に3台目として並ぶ。定時前に開門、そのまま三方岩駐車場に、目標は妙法山。

ゲート閉門 1800 もあるので、引き返しは 12 時として 0735 に出発。

先日の初雪が日陰では凍って足元に注意しながら三方岩岳に、天気は快晴、白山は真っ白でその名の通り、思わずおおっ！と声が出る。



〈ナナカマドと白山〉

三方岩岳からは目標見えず、左に靱糠山、猿ヶ馬場山、目の下は合掌造りの白川郷、右手に白山を眺めながらひたすらに稜線を登り下り、馬狩荘司山を過ぎ鶴平新道分岐を越して野谷荘司山へ、稜線の西側の道は雪が締まっていたサクサクと歩き易い。もうせん平は雪原になってるが、道から逸れるとくるぶしぐらいまで池？沼にハマるので僅かなトールズ頼りに歩を進める。

紅葉はナナカマドは殆ど葉が落ちていて残念。

周りの山々も、盛りは終わりの様な感じ。

快晴の中を登り下りに汗をかきへろへろになりながら 1130、先行者が休んでるところに出る。

Y君にまだ先が長いなぁと言って振り返ったら、足元の小さな道標に妙法山とあった。 やっちまった。



思わず見落としそうになった  
妙法山、遠くに笈ヶ岳、大笠山

休憩もそこそこに引き返す事に。

本日妙法山を訪ねたのは我々含めて4人の様。

やっぱり遠かった。

戻りは雪が溶けてドロドロの道に難儀しながら4時間、1530前に駐車場に戻る。

初冬の稜線歩きを堪能した月例山行だった。

また行きたい山です。

[文・写真：樽矢]

## II. 行事等 報告、その他 案内・連絡

### 1. 会務報告

感染拡大を防止の為、施設利用の自粛が要請されていますが、三水会は少人数にて開催しています。

- ・三水会 2021年10月20日(水) 19時～21時  
参加 堀 村上 織田 八十嶋 樽矢 5名  
議題 古道調査進捗報告その3  
31日予定の久弥祭予定報告  
支部山行 白山北部 妙法山 計画説明(樽矢)
  
- ・三水会 2021年11月17日(水) 19時～21時  
参加 堀 八十嶋 藤井あ 田中 樽矢 5名  
議題 福井支部創立30周年祝賀会参加報告(樽矢)  
11月13日(日)福井市ホテルフジタ福井にて祝賀会開催、  
本部より古野会長、坂井副会長、神崎氏、鍛冶富山支部支部長、松下京都・滋賀支部支部長、  
岐阜支部は堀岐阜支部元支部長、他京都・滋賀支部より幣内副支部長以下4名  
福井支部関係各位総勢39名参加  
古道調査進捗報告その4  
白山3禅定道は福井支部は越前禅定道、岐阜支部は美濃禅定道を担当とする意見合意していると報告  
31日開催の久弥祭報告  
石川支部からは樽矢支部長、大幡副支部長、池本、田井、埴崎、大庭、徳田、下坂一家、藤井あ 他3名  
なお、当日は槻岡先生の日本三霊峰Tシャツ販売もあり(十数枚販売と報告あり)  
富士写ヶ岳登山は樽矢支部長、田井、藤井あ、宮本(藤井友人)、大庭、下坂一家、樽矢家内、など頂上で  
焼肉を楽しむ。  
支部山行 白山北部 妙法山 報告(樽矢) 参加八十嶋・樽矢2名 初冬の稜線歩きは快適!報告
  
- ・三水会 2021年12月15日(水) 19時～21時  
参加 参加 堀 埴崎 池本 樽矢 5名  
議題 会務報告
  
- ・三水会 2022年1月19日(水) 19時～21時  
参加 堀 藤井あ 田中 満生 樽矢 5名  
議題 新入会員 満生氏参加・紹介 先端大学校での研究など説明がありました
  
- ・三水会 2022年2月16日(水) 19時～21時 Teamsにてリモートも開催  
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 針義務局長 田井 埴崎 村上 リモート津田顧問 7名  
議題 4月の総会前の役員会として 詳細報告は役員会報告で
  
- ・三水会 2022年3月16日(水) 19時～21時 Teamsにてリモートも開催  
参加 堀 八十嶋 大幡 藤井 田井 樽矢 6名  
議題 総会前の議案確認。総会は4月3日(日曜)とした  
山岳古道の推薦一部修正 再推薦とする 古道は候補はあるが、精査必要とする



## 2. 令和4年度総会「令和3年度報告、令和4年度計画」

- ・4月3日(日) 14:00~15:00 場所 : 金沢市総合体育館 第1会議室  
三密回避の為、定員100名の第1会議室を会場とし、3人テーブルに1人着席とします。  
マスク着用、アルコール消毒・手洗い励行の上、ご参加下さい。

## 3. 第26回久弥祭開催について

第26回久弥祭は4月24日(日)午前8時から九谷ダム広場(加賀市山中温泉枯淵町 富士写ヶ岳登山口)にて開催を予定しています。お時間のある方、久弥祭の後、富士写ヶ岳登山は如何でしょうか。  
照会連絡先 加賀市深田久弥山の文化館  
加賀市大聖寺町番場町18の2  
E-meil : yamabun@mail2.kagacable.ne.jp  
HP : <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>

## 4. 古道調査について

石川支部は第一次調査道で「加賀禅定道」を担当、本年は実際に踏査しGPSのログと登山道及び歴史遺構の写真撮影や文献の調査を開始する予定ですので調査に関わり各位のご協力をお願いします。

## 5. 入会

2名の方が入会されました。皆様今後よろしくお祈りします。  
2022年1月の入会です、「山」2022年2月号(No.921)に掲載されています。

- ・道満 晃樹 (16861)  
北陸先端科学技術大学院大学院生です、登山の行動に関わる研究をされています。
- ・堀岡 幸代 (16864)  
会友から会員に入会して頂きました、山行回数が多くアクティブに活動されています。

## 6. 退会

4名の方が3月31日をもって退会されました、会を離れても益々の御健勝・御活躍をお祈り申し上げます。

- ・織田 伸治  
会の運営・行事等に協力貢献して頂きました、上高地での鮎の塩焼きは絶品でした。
- ・長清 幸子  
会の運営・行事等に協力貢献して頂きました、酷暑の中、富士写ヶ岳登山道整備等ありがとうございました。
- ・水井 義明  
会の運営・行事等に協力貢献して頂きました、ありがとうございました。
- ・小畑 聡子 (会友)  
会友でしたが会の運営・行事等に協力貢献して頂きました、登山道整備や会山行にも参加して頂きました。

### III. 今後の予定

#### 1. 行事予定 (令和4年度定期総会にて正式決定予定)

支部の行事予定に係わらず、山行について三水会などでリクエスト・提案をお願いします。

2022年度(令和4年度)石川支部事業計画案 2022年(令和4年度)4月度～2023年3月度

実施予定日 (行程及び予備日)	事業 区分	内容・目的	山域・場所	担当
4月3日(日)	共益	令和4年度定期総会	金沢市総合体育館	事務局
4月16日(土)、 (予備日)17日(日)	共益	オンソリ山【月例山行】 カタクリ自然観察会	白山瀬波キャンプ場	自然保護委員 事務局
未定	本部・他支部事業	小島烏水祭	香川県高松市	本部・四国支部
4月24日(日)	公益	久弥祭・富士写ヶ岳登山【月例山行】	枯淵駐車場特設会場	山行委員・事務局
5月28日(土) (予)30日(日)	公益	火燈古道・不惑新道整備【月例山行】	登山口～火燈山～富士写 ヶ岳	登山道整備委員 大幡
6月4日(土)	本部・他支部事業	ウェストン祭	上高地・ウェストン碑前	本部・信濃支部
6月25日(土) ～26日(日)	公益	120周年記念山岳古道 白山禅定道踏査	加賀禅定道	古道調査委員 山行担当委員
7月16日(土)	公益	白山親子登山座学研修【月例山行】	キゴ山、ふれあいの里	山行委員 事務局
7月30日(土)～ 7月31日(日)	公益	白山親子登山教室【月例山行】	白山(砂防新道・室堂・ エコー)	山行委員 事務局
8月6日(土)～ 8月7日(日)	共益	上高地山岳研究所集会	上高地	山行委員 事務局
9月24日(土)～ 25日(日)未定	本部	支部合同会議(支部長・事務局長)	主婦会館プラザエフ リモート参加	支部長・事務局
10月未定	共益	【月例山行】	未定	山行委員
日程は未定	共益	岐阜支部設立30周年記念 五支部合同懇親山行(岐阜支部主催) 【月例山行】、【山祭り】共催	宿泊場所未定 猪伏山	岐阜支部
12月3日(土)	本部	支部長会議・年次晩餐会(開催は未定)	本部(12月第一土曜日)	本部・事務局
12月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
2021年1月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
2月	共益	【月例山行】	雪山技術研修会と兼ねる	山行委員・事務局
3月	共益	【月例山行】		山行委員・事務局
2月	共益	5支部スキー山行(〇〇支部主催)	未定	〇〇支部
月次第三水曜	共益	【月例集会】三水会	金沢総合体育館	事務局
	共益	支部報発行(年2回)	9月・3月	事務局 堀 兼務
	共益	役員会議	必要の都度	事務局

#### 編集後記

まん延防止等重点措置が3月20日に解除されましたが、石川県の感染者数は高止まりしています。さらにオミクロンの変異種BA2も初確認されています。BA2は従来種より1.8倍の感染力とされています。又、不安定な世界情勢であり、石油をはじめ様々な物資が入手困難で相当な値上がりとなっており山行時だけでなく家計を圧迫しています。今冬は白山山系で残念な事故も3件発生しています。春めいてきましたが、皆様十分にお気を付けてお楽しみください。

日本山岳会 石川支部報

発行日 2022年(令和3年度)3月31日

発行者 公益社団法人 日本山岳会

支部長 樽矢 導章

TEL/FAX: 076-237-5769

編集者 支部報担当 堀 正春

(事務局) TEL/FAX: 076-248-0175

E-mail isk@jac.or.jp

HP <https://jac-isk.com/index.html>